

○ 大阪・関西万博 シンポジウム「世界遺産 法隆寺と文化財防災の未来」

大阪・関西万博で9月3日、世界遺産の法隆寺(奈良)を軸に据えて文化財防災の未来を議論するシンポジウムが開催されました。朝日新聞社と法隆寺が進める「法隆寺みらいプロジェクト」の一環で、朝日放送と共催しました。文化財の継承を世界的視点から考えようとの趣旨です。

(抜粋)

・「法隆寺は世界遺産の考え方を変えた。文化財を守るにはどうするかを教えてくれている」。元文化庁長官の青柳正規・多摩美術大 理事長は、そう語りました。7世紀創建の法隆寺は、世界最古の木造建築として知られます。日本が誇るこの古刹(こさつ)は国内の文化財保護制度の原点であると同時に、国連教育科学文化機関(ユネスコ)世界遺産制度を真の意味で完成させた象徴でもあります。

・シルクロード東端に位置する法隆寺こそ、「文化の集大成でありタイムカプセル。インドのアジャンターや中国・敦煌の流れとも、金堂壁画は東西文化の融合を表す」と井上洋一・奈良国立博物館長。その安定的な維持態勢の構築は他の寺社はもちろん、国内外の歴史遺産保護につながります。

・宗教や信仰心が薄れゆく昨今、法隆寺も伽藍(がらん)や寺宝の維持に苦慮しているのが現実です。古谷正覚管長は「国の補助があっても負担は大きい。伽藍をどうやって守り、バトンを未来へつなげていけるか。それが課題です」と語りました。(出所:下記、関連記事(1)より。承諾番号「25-2929」)

・朝日放送テレビ関連記事 (外部サイトにリンクしています)

2025年9月23日 [万博で「文化財の防火」考えるシンポジウム 焼損した法隆寺の金堂壁画を例に“後世に伝えていく大切さ”説明](#)

・朝日新聞関連記事: (ログインが必要です)

2025年9月23日 [法隆寺から探る、歴史遺産の継承 万博で「防災の未来」シンポ \(1\)](#)

朝日新聞関連動画: [【シンポジウム】文化財を災害から守る未来について考える](#)

